

宿根かすみそう据え置き作型の摘心による収穫期調節

南部分場

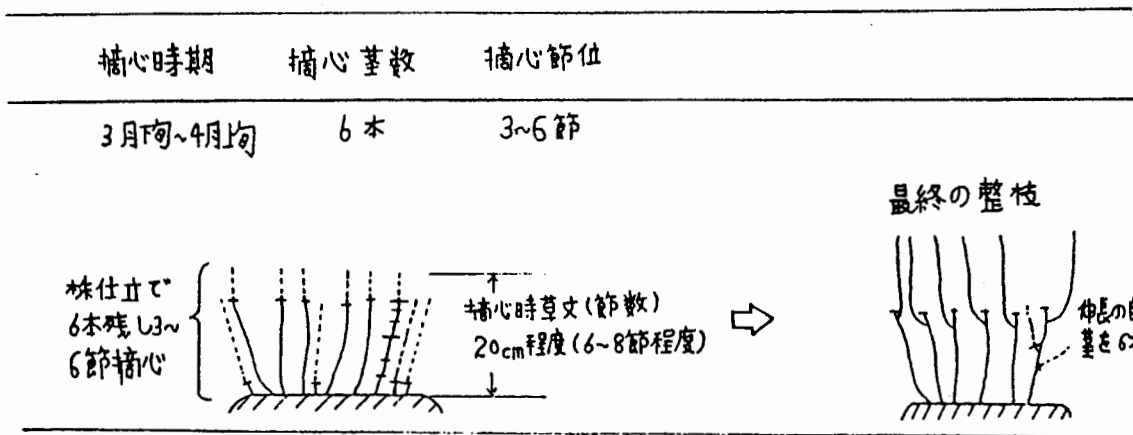
1、背景とねらい

宿根かすみそうの据え置き作型のほとんどは無加温栽培であり、収穫期が高温、長日期となるため、収穫期間が短期間に集中し、同一の温度管理の場合、ハウス規模や労働力によっては適期収穫が困難となり、黒花が発生し品質低下をきたして問題となっている。

そこで、摘心による据え置き作型の収穫期の調節方法を検討したところ、成果が得られたので指導上の参考に供する。

2、技術の内容

- 1) 据え置き作型では摘心により開花期が遅延し、収穫期の調節が可能となる。摘心回数は1回とし、収穫期の調節効果は10日程度である。そのための摘心方法、摘心時期等は以下のとおりである。



2) 適応地域及び適応作型

県下全域
施設無加温栽培

3、指導上の留意事項

- 1) ハウスの保温開始時期は1~2月上旬頃とし、被覆は外部ビニールまたは外部ビニール+カーテン程度とする。
- 2) 摘心後、伸長の良い莖を株当り6本残すように整理する。
- 3) 摘心することにより基部からの枝の発生が多くなるため、早めに摘除する。

4、当該事項にかかる研究課題名

宿根かすみそうの夏秋どり栽培法

5、参考文献 省略

6、試験成績の概要

表 1 切花品質, 収量, 収穫期

年	区	草丈 (cm)	株重 (g)	開枝花数 (本)	強度 (cm)	収穫本数(本)		規格別割合(%)			
						株当り	a当り	2L	L	M	外
元 年 度	①4/2 3節摘心	102.1	120.9	7.7	強	5.2	1.924	92.2	3.9	0	3.9
	②4/2,5/2 3節摘心	90.4	78.6	8.2	強	5.0	1.850	64.3	25.0	0	10.7
	③4/2,5/11 3節摘心	95.3	73.8	6.2	強	5.0	1.850	55.9	32.4	0	11.7
	④4/2,5/11 3節摘心 (株仕立 3本)	100.1	116.7	10.5	強	2.8	1.036	94.4	0	0	5.6
	⑤4/2,5/20 3節摘心	87.0	86.0	6.2	強	2.0	740	33.3	0	0	66.7
	⑥無処理	142.7	253.2	12.2	強	6.0	2.220	100	0	0	0
2 年 度	①4/3 3節摘心	98.2	108.7	9.2	3.2	5.0	1.850	88.9	0	0	11.1
	②4/3 6節摘心	109.3	147.8	11.4	4.0	5.8	2.146	96.7	0	0	3.3
	③4/3,5/1 3節摘心	84.1	76.3	7.9	5.0	5.1	1.887	68.8	15.6	0	15.6
	④4/3,5/10 3節摘心	83.3	69.0	7.5	3.9	4.8	1.776	60.0	17.8	0	22.2
	⑤4/3,5/20 3節摘心	58.2	26.0	4.3	4.9	0.1	37	0	2.1	0	97.9
	⑥無処理	139.0	221.9	10.8	3.0	6.0	2.220	100	0	0	0

収穫期(月.日)		収穫適期の幅 (日)	最終摘心からの 平均気温の積算 温度 (°C)
平均	無処理からの収穫 期遅延程度 (日)		
① 7. 8	12	6	
② 7.16	20	11	
③ 7.18	22	7	
④ 7.17	21	5	
⑤ 7.21	25	7	
⑥ 6.26	0	2	
① 6.19	9	11	1.430.2
② 6.18	8	8	1.403.4
③ 6.23	13	8	1.123.4
④ 6.27	17	9	1.046.8
⑤ 6.30	20	22	902.2
⑥ 6.10	0	2	

注) 強度: 先端の下りの程度 強: 0~5cm, 中: 5~10cm, 弱: 10cm以上